

と も に

08

2019年
秋号

特集

安心して、頼りになる 吹田市民病院のがん医療

市民とともに心ある医療を

地方独立行政法人 市立吹田市民病院は「市民とともに心ある医療を」の基本理念に基づき、急性期医療や高度医療、救急医療を中心に、吹田市の中核病院として、質の高い安全な医療の提供に努めています。それらの取り組みを、広報誌「とにも」を通じて市民の皆さまにお伝えいたします。

がん相談支援センターにご相談ください **無料**

看護師や社会福祉士などの専門の相談員が、患者さまやご家族からのがんに関する悩みや相談をお受けします。秘密は厳守しますので、安心してご相談ください。

- 日時** 月曜～金曜日(祝日除く)
午前10時～午後3時
- 場所** がん相談支援センター
(市立吹田市民病院2階 患者支援センター内)
- 相談方法** 完全予約制。面談(20分程度)でお受けします。
電話での相談はお受けできません。
- 費用** 無料
- 予約・問い合わせ** TEL 06-6387-3311(代表)



当院の患者さまやご家族だけでなく、他院の患者さまからも相談をお受けしています。相談に来られる方の多くは不安を抱いておられますので、私たちは患者さまの声にじっくりと耳を傾け、お気持ちに寄り添いながらのサポートを心掛けています。

緩和ケア外来を開設しています

がんや、COPDなどの呼吸不全、心不全、腎不全などを持つ患者さまは、病気そのものの治療だけでなく、病気に伴って出現してくる苦痛(痛みやしんどさ、病状・治療・生活に関する不安、心配事)を和らげることも大切です。緩和ケア外来では、緩和ケア担当医師または、緩和ケア認定看護師が中心となり、治療や病気に関する不安、心配事の相談をお受けしています。ご家族さまからの相談も可能です。緩和ケア外来の相談を希望される方は当院患者支援センターまでご連絡をお願いいたします。

- 外来診察日** 火曜日午後(完全予約制)
- 場所** 患者支援センター
- 予約・問い合わせ** TEL 06-6387-3311(代表)



緩和ケア委員会の様子

ご利用ください **セカンドオピニオン外来**

複数の医師の意見を聞いた上で、患者さまに治療法を選択していただくためのセカンドオピニオン外来を開設しています。現在かかっておられる主治医(他院)からの紹介状や検査データなどをもとに、当院の各領域専門医が検討を行い、治療方針について意見を述べさせていただきます。

対象疾患(がんに関するもの)

肺がん、乳がん、甲状腺がん、食道がん、胃がん、大腸がん、膵臓がん、胆管がん、肝がん ※その他の疾患にも対応しています

- 費用** 30分10,000円(税別)
- 予約・問い合わせ** 患者支援センター 地域医療連携
TEL 06-6387-3311(代表)
※完全予約制。医療機関からの予約が必要です。

診療受付のご案内

- 初診・再診(平日のみ)
午前8時30分～午前11時 診療開始:午前9時～午後0時30分～午後2時30分 ※午後は予約制です
【紹介制】整形外科・耳鼻咽喉科
【完全予約制】脳神経内科・精神科心療内科・麻酔科・歯科(障がい者)
休診日:土・日曜日・祝日、12/29～1/3
- 救急
平日の午後5時～翌朝午前9時および土・日曜日・祝日
※受診の際はお電話を TEL 06-6387-3311

市立吹田市民病院のシンボルマーク

生命力が強く、長命で巨木となることで親しまれている市民の木、「くすのき」をモチーフに聴診器を木の幹に見立てたデザインにしました。また、市民が集まる、地域に根差す病院であることを表しています。



がん診療拠点病院として、質の高いがん医療を提供

がんにかかった方の治療方法は「手術療法」「化学療法」「放射線療法」の3種類があり、これを三大療法と呼んでいます。かつては手術を中心に行われていましたが、近年では化学療法や放射線療法なども多く実施されています。

大阪府がん診療拠点病院に指定されている市立吹田市民病院は、医師をはじめとするスタッフのスキルはもちろんのこと、高度な医療機器も充実しており、総合的かつ質の高いがん医療を行うことが可能です。

手術療法

メスでがん組織を切除する治療方法です。完全に切除できれば体内からがんを消すことができるため、根治の可能性が高まります。特に胃がんにおいては最も有効とされており、当院では早期（ステージ1a、1b）の場合は腹腔鏡下手術で対応します。開腹しないことから、患者さまへの負担が小さく、社会復帰が早まるメリットがあります。

転移などにより胃がんの手術ができない方でも、化学療法によって病変が小さくなり手術可能となったケースがあります。他の療法と組み合わせながら、患者さまに最も適した治療を心掛けています。



当院には幅広い分野の外科医が在籍しており、最善のがん治療を実施できます



消化器外科 部長
山村 憲幸

化学療法

点滴などで抗がん剤を投与し、がん細胞を消滅させたり増殖を抑えたりする治療方法です。以前は入院する必要がありましたが、吐き気や倦怠感といった副作用を抑える薬が開発され、外来で治療できるようになりました。

当院の化学療法室には、がんの再発防止や進行がんの抑制などを目的に、さまざまな方が治療に来られます。点滴時間は長い方で丸一日かかりますので、少しでもリラックスできるように、リクライニングシートとDVDが見られるテレビを設置しています。



がん三大療法

手術療法
放射線療法
化学療法

化学療法室

リニアック
(放射線治療装置)

患者さまの不安や負担に寄り添いながらチームで治療を支えています



呼吸器内科 部長
宮崎 昌樹



乳腺外科 医長
渡邊 法之

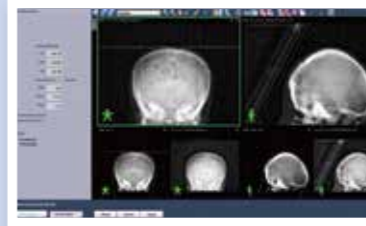
外来診察

診察の際には、できるだけ理解しやすい言葉で説明するように心掛けています。ご自身ががんと分かって来られる方もいますし、ここで初めてがんであることを知る方もいます。患者さまそれぞれの状況に配慮しながら、丁寧な対応を心掛けています。

放射線療法

病巣に放射線を当てて、がん細胞を消滅または小さくする治療方法です。口腔がんや肺がん、食道がんなどによく用いられ、根治療法から緩和療法まで幅広い用途があります。また、手術の成功率を高める術前照射や、再発率を抑える術後照射なども行っています。

当院の放射線治療システムは高精度汎用放射線治療機を中心とした構成となっています。腫瘍部分には十分な線量を投与しつつ、正常組織の被ばくを極力避ける放射線治療を心掛けていますのでご安心ください。



放射線の照射例 (神経膠腫術後)

毎回の照射ごとにX線透視やCTを撮影し、骨や腫瘍などの体内構造物を基準に、三次元的に位置照合と誤差補正を自動で行います。

放射線治療科 部長
山田 優二

新病院移転に合わせて放射線治療システムを一新し、高度な治療が可能となりました

